

契約理由書

1. 業務件名 令和7年度流水型ダム本体及び関連施設詳細設計業務

2. 履行場所 川辺川ダム砂防事務所管内

3. 契約の相手方 住 所：福岡市博多区東比恵1-2-12
名 称：日本工営株式会社 福岡支店
電 話：092-475-7131

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、流水型ダム本体及び関連施設の詳細設計を行うものである。

2) 業務の内容

・計画準備	1式
・現地調査	1式
・基本事項の整理・検討	1式
・堤体施設設計	1式
・関係機関協議資料作成	1式
・数量とりまとめ	1式
・総合検討	1式
・報告書の作成	1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び「流水型ダムの特長を踏まえた本体設計における留意すべき事項」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「実施手順」における実施フローの工夫や照査における具体の手法・工夫等が記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「流水型ダムの特長を踏まえた本体設計における留意すべき事項」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

川辺川ダム砂防事務所 ダム工事課長